



ニュースリリース 平成 26年 5月 12日

「地域密着型金融の取組み状況」に関するお知らせ



常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、お客さまへの最適な金融商品・サービスの提供を通じ、地域経済の活性化に貢献するため、「地域密着型金融の取組方針」を策定し、「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」、「中小企業に適した資金供給手法の徹底」、「持続可能な 地域経済への貢献」の3つを重点項目として各種施策に取り組んでおります。

また、当行では、東日本大震災によって甚大な被害を受けたお客さま・地域の復興と成長に貢献するため、常陽銀行グループ一丸となって「常陽地域復興プロジェクト『絆』」を全力で推進してまいりました。

このたび、平成25年度の取組み状況をとりまとめましたので、別添の通りお知らせいたします。

今後とも、地域の中核金融機関として「地域密着型金融への取組み」をより一層充実させるとともに、お客さま・地域の復興と成長に向けた取組みを、より高いステージへと引上げ、創意工夫にもとづく総合金融サービス機能の提供を通じ、お客さま・地域の課題を一つ一つ解決していくことにより、地域経済の復興・成長に貢献してまいります。

取組みにあたっては、本年4月に立ち上げた「未来協創プロジェクト『PLUS+』」を常陽銀行グループ一丸となって推進してまいります。

(詳細は、こちら「[地域密着型金融の取組み状況](#)」および「[常陽地域復興プロジェクト『絆』](#)」をご覧ください。)